

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年2月15日

事業所名 ナナホシ長森事業所

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		十分なスペースを確保できている。	
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		子2:職員1になるように配置している。	人員配置基準を満たすようシフトを組んでいるので、今後も継続して人員欠如とならないように努める。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		工作をする場所にはマットを敷いて運動する場・工作をする場を視覚的に分かりやすく区切っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		清掃は、毎日職員全員でおこない、清潔を保てるようにしている。	清潔な空間に保つため、室内や物品のこまめな拭き取り掃除などを行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		朝と帰りにミーティングを行っている。	朝と帰りのミーティングで昨日の成果と課題を出してPDCAサイクルにつなげていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		<input type="radio"/>	今回初めてのアンケートなので今後につなげていく。	アンケートでいただいたご意見は真摯に受け止め職員間でミーティングをし、方針を決め業務改善につなげていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		<input type="radio"/>	今回初めてのアンケートなので今後につなげていく。	アンケート調査での結果を職員間で話し合い、今後の業務改善へつなげていく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		第三者評価は行っていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		週に一度DVD、職員間での話し合いによる研修を行っている。	今後も社内研修をおこない、共通の認識を持って支援に生かすよう努める。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		子どもの様子は契約前にアセスメントシートの記入と聞き取りをおこない把握している。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		事業所グループ内の統一ツールがある。	事業所内で共通のアセスメントシートを使用しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>			個別支援計画の具体的な目標に沿った支援で日々の記録や保護者への相談にのるよう職員に指導している。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		毎週土曜日は公園、クッキングなどの活動を行っている	活動プログラムは、本児の好きな活動から広げていくので、固定化はせず、伸び伸びと活動できる環境作りを大切にしている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝のミーティングで決めている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		終業時ミーティングでその日の課題点等を話し合い、日誌にて全職員に共有している。	ミーティングで情報共有をし、日々の支援に繋げていく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		支援終了後、個別支援記録にその日の様子を記録し支援の改善に繋げている。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		半年に一回モニタリングを行っている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○			医療的ケアが必要な子は利用していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○			医療的ケアが必要な子は利用していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○			今後必要であれば情報共有をしていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○			保護者と連携をとりながら就学に向けて支援内容や発達状況などを共有していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時にその日の様子を伝えている。	送迎時や、日々の記録をネット上で見られるシステムを導入しており、子どもの様子はそこから確認ができるようになっているため、今後も記録をしっかりと残していく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○			コロナ禍の為行っていない。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明をしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談があった場合は電話や送迎時・希望があれば来所してもらい対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			コロナ禍の為行っていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月の通信の発行、HP上でブログの発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			保管庫は鍵をかけ、ブログは個人を特定できないよう配慮している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			現在は地域の方を招待する行事はおこなっていないが、今後社内で検討していく。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時にマニュアルを配布している。	マニュアルの整備はされているが、必要であれば変更し周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬が必要な日には必ず投薬依頼書を記入してもらっている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現在アレルギーのある子は利用していない。今後必要であれば対応していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		小さなことでも、記録するよう職員間で徹底している。	記録は全員に周知し、安全に活動できるように努めていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明をしている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。